

第 30 回 吹田市立図書館協議会（会議録要録）

平成 22 年 11 月 11 日（木）

午後 2 時～4 時 30 分

中央図書館 3 階第 2 集会室

出席者

委員）坂本委員、末岡委員、黒田委員、正置委員、藤井委員、渡邊委員、太田委員、篠田委員、

事務局）竹村中央図書館長、宮林参事、古田参事、竹村参事、金森千里図書館長、宮東山田図書館長、伊賀野さんくす図書館長、櫻井江坂図書館長、長島千里山・佐井寺（ちさと）図書館長

傍聴者：1 名

第 30 回 図書館協議会次第

1. 「平成 22 年（2010 年）版吹田市の図書館活動—平成 21 年度（2009 年度）統計—」について
2. 「吹田市立図書館館外貸出規程（平成 5 年 5 月 11 日教育長訓令第 8 号）」の改正について
3. 山田駅前図書館開設にともなう条例改正について
4. その他
 - (1) 西宮市立図書館視察の感想など
 - (2) 山田図書館の休館について
 - (3) 千里図書館新館の進捗状況について
 - (4)（仮称）千里丘図書館の進捗状況について
 - (5) 千里山・佐井寺図書館の業務委託に係る業者選定の結果報告について
 - (6) その他

議長）ただ今から第 30 回吹田市立図書館協議会を開催いたします。本日の会議は午後 4 時までの予定をしておりますので、よろしくお願ひいたします。

事務局にお尋ねいたしますが、傍聴希望の方はおられますか。

事務局）1 名いらっしゃいます。

議長）傍聴規定に基づき入室してもらってよろしいでしょうか。

委員）異議なし。

議長）入室を許可します。

議長）それでは、会議次第に従って議事を進行していきたいと存じます。事務局より説明をお願いします。

事務局）《初めに、出席状況の報告と配布資料の確認》

1 「平成 22 年（2010 年）版吹田市の図書館活動—平成 21 年度（2009 年度）統計—」について

事務局）まず初めに 1 点訂正がございます。12 ページの「市民一人当たりの貸出冊数など」の区分の項目、最初が平成 19 年度の間違いです。平成 21 年度の大きな事象として、4 つありました。一つ目は新型インフルエンザの流行で中学生以下の子どもの入館禁止の措置をとりました。5 月の行事もその影響で中止となりました。二つ目は「市民が選ぶ子どもたちに読ませたい 100+5 冊の本」を選定しました。20 年度から約 1 年半かけて選定し、21 年 7 月 14 日から各図書館で設置、貸出を開始しています。

最初の1週間は市役所ロビーでも展示を行いました。三つ目は、毎日開館を22年1月から実施しましたが、その前段として、夏休み期間中（7月20日から8月31日）毎週月曜日を夏休み子ども開放日として10時から6時まで開放しました。四つ目は電算システムの入れ替えをしました。4ページ目に機構図を載せていまして、平成22年4月1日現在正規職員が57名、非常勤職員が27名の計84名となっております。内81名は司書です。平成21年度の貸出冊数の減少については、インフルエンザとシステム入れ替えのための休館により、開館日数が減少した影響と考えています。決算額と資料費の推移ですが、資料費は91,578,864円で、北摂の中では茨木に次いで2番目に多くなっています。予約件数の推移は、21年度に50万件を超えました。コンピュータ化の前は毎年10万件でした。現在はインターネットからの予約が3分の2を占めているのが、増加に影響していると考えます。以降各館の行事報告等になっておりますが、今年度からはYA（ヤングアダルト）サービスのページを設け、学校連携なども収録しています。

委員）貸出点数の減少についてはご説明があったが、登録者数が大きく減っている。反面、のべ利用者数が増えているのはどのように考えているか。

事務局）登録者数は、カードの切り替えを5年に1度しているが、11月にシステムの切り替えをした際に、未利用者のデータを整理したことが重なりました。現在の約10万件という数値が正確な件数です。過去のデータは、実際には利用されていないものが含まれていました。のべ利用者については、貸出された人の数ということで増えているが、貸出冊数が伸びていないということは一人当たりの貸出数が減ったということになります。

委員）市内登録者数が減り、のべ利用者数が増える、というのは逆の動きですね。

事務局）常時ご利用いただいている方については貸出冊数が増えているが、一方で利用のない方も増えています。登録者数減少の原因としてもうひとつ、千里山・佐井寺開館から6年経過し、新館開館時には多くの登録があったが、5年後の切り替えをしていない人も多いということです。

委員）5年で自動的に登録が抹消されるということですね。

事務局）有効登録者ではなくなり、抹消されます。

委員）図書費の単位はすべて円ですね確認します。寄贈と受入の数が出ているが、寄贈総数に対する受入率はどの程度ですか。もう一点、開館日数の各館の差はどういった事情ですか。

事務局）寄贈本の件ですが、平成21年度に21,157冊いただきました。受け入れしなかったものはブックフェアなどに出したり、古い本は府立図書館に必要なか尋ねたりしています。開館日数の件は、年に1回の長期整理休館で蔵書点検をしているが、館によって規模が違うので、休館日数が違ってきます。その現れです。

委員）複写の枚数が出ていたが、全館での積算でしょうか。

事務局）そうです。全館で約2万枚です。

委員）寄贈の年間受入金額はいくらか、府立だと、ビジネス書の年間予算は約1,000万に対し、業界新聞の寄贈が700万円以上あります。議会での資料にも使える数字だと考えられます。

議長）各図書館のサービスの報告の中で、インターンシップ・プレインターンシップがあるが、具体的にはどのようなことをしていますか。

事務局）市内大学2回生から3回生を約2週間受け入れ、図書館の仕事を体験していただくと同時に社会人としてのスキルを身につけてもらっています。われわれの実際の仕事をしてもらうほか、2週間の体験をふまえて、他にどのようなサービスができるかプレゼンテーションしてもらったり、特設コーナーを作ってもらったりしていま

す。

委員) 以前、川柳の本を 5 冊ほど寄贈したが、最近なくなっているようだ。年間、何冊ぐらいの紛失があるのですか。

事務局) 平成 19 年度までは年間約 2,000 冊だったが、最近増えてきていて、この 2 年ほどは 4,000 冊近くになっています。毎年行う蔵書点検で不明になった本は不明本として処理し、3 年経過した時点で除籍しています。

委員) どんな種類のものが多いですか。

事務局) 様々だが、なぜか大きな本の紛失もあります。

2 「吹田市立図書館館外貸出規程」の改正について

事務局) なぜ貸出規程の改定を行ったかにつきましては、参考資料をごらんください。吹田市立図書館では、さんくす図書館以前の開館の図書館では AV (視聴覚) 資料を置いていません。そこで、市民の方から、なぜ AV 資料の取り寄せができないのかという要望を多くいただいていた。平成 23 年 3 月から、山田駅前図書館も開館することになり、ある程度の資料数を確保できる見込みができたため、AV 資料の予約受付を開始することにしました。本が 15 冊まで、AV 資料が 3 点までとなります。また同時に、今まで資料種別ごとにバラバラだった貸出期間を 2 週間に統一するとともに、参考資料や予約待ちのあるものを除きほとんどの資料で延長手続きがとれるようにします。今までは 3 週間貸出の本しか延長できなかったが、今後は AV 資料も含めてすべて延長できるようになります。借出冊数も増やして本 15 冊、それ以外に AV 資料 3 点に変更します。借出カードの 5 年ごとの更新についても、今後は 5 年ごとに本人確認はするが、カードは引き続き利用していただいて経費節減を行います。

委員) 《特に質問・意見等はなし》

3 山田駅前図書館開設にともなう条例改正について

事務局) 現在、図書や備品の購入等の準備作業を行っています。山田駅前図書館は、平成 23 年 3 月 26 日に開館セレモニーを行い、27 日から供用開始の予定です。今年の 3 月議会で複合施設の「子育て青少年拠点夢つながり未来館」条例が制定され、それを受けて図書館の条例改正を行います。山田・千里丘ブロックの地域館機能を、現在の山田図書館から山田駅前図書館に移すこととし、規則改正については 11 月の教育委員会に案件として提出予定です。また、分室についての規程の変更を行い、北千里分室を千里ニュータウンブロックの地域館である千里図書館の分室として、現山田図書館を山田駅前図書館の山田分室と名称変更します。山田分室は今後も毎日開館や夜間開館など、これまで同様のサービスを提供する予定です。

委員) 《特に質問・意見等はなし》

4 その他

(1) 西宮市立図書館視察の感想など

委員) 来場者に対しての表示が目につくところに的確に配置されている印象。例えば、忘れ物置き場がカウンターの近くに表示されている。床には、順番待ちの列の位置に足型が入っていてすぐにわかる。紙袋の用意がカウンター脇にある。相談窓口の看板も大きい。吹田でもしているのだが、西宮の方が非常にわかりやすいというのが第一印象。

委員) 中央図書館で館長の説明で印象に残ったのは、分室の管理運営を 19 年度から委託し、サービスが以前より充実したという好印象を与える説明であったが、委託につい

ては掘り下げて考える必要がある。委託したところでは窓口は貸出と予約をするところという話で、本当にその認識でよいのか。北口図書館は、書棚の上の段が空いていて、開放感があり明るい印象だった。スペースの余裕があるからできることかもしれないが、新しい図書館はそういうものなのか。また、吹田と西宮のホームページを見比べてみたが、最初のつかみがよかった。アイコンが大きく、画像も入っていて見やすかった。吹田市の図書館のホームページは一般的な行政のホームページの印象。西宮は、貸出予約のベスト 30 が検索画面に出ていて、使ってみようと思った。吹田にも載せているのかもしれないが、探せなかった。吹田には司書発ウエブマガジンがあって、読んだら面白いが入口がわかりにくい。インターネットでの予約が増えている時代に対応して、検討してほしい。他市の図書館のホームページを見る機会となりよかった。

- 委員) 広くて、開放感があって明るい印象。特色はあまり感じられなかった。年少者向けとシニア向けの良いものを探したかったが、これとって感じられなかった。
- 委員) 委託の問題に関心があった。小さい館をすべて業者委託にしていた。吹田の場合はカウンターの手元委託ということで、発生する問題も違ってくるのかと思う。
- 委員) 西宮も吹田も市民のための図書館の役割を果たしていると感じた。学校との連携が今後の課題だと感じた。
- 委員) 視察には行けなかったもので、情報提供する。先日、岸和田市で分館が開館した。非常に小さいところだが、駅前ということで利用は多いようだった。4階建て駐車場があって、そこからすぐに入れるようになっていた。来年春に和泉市立和泉図書館が和泉府中駅前に開館する。かなり大きな図書館になるのではないかと思う。
- 議長) 協議会においても、さまざまな課題について視察の成果を踏まえて持続的に考えていきたいと思う。

(2) 山田図書館の休館について

- 事務局) 複合施設全体の改装工事に伴う休館。図書館は屋上防水、壁の塗装、照明・空調などの工事を行います。12月20日から休館して本の移動などをして、1月から工事に入ります。3月18日引き渡し、4月1日から開館予定。休館中は代替業務として、1月11日まで返却ポスト、山田出張所で予約本のお渡し、2月3月に1回ずつ自動車文庫の巡回を行う予定です。ブックスタートのひろば、ほんのひろばは場所を変えて実施します。4月以降は分室として開館し、毎日開館と夜間開館も実施予定です。
- 委員) 山田の本は、そのまま置いておく予定ですか。
- 事務局) 一部は駅前図書館に移管。乳幼児・お年寄りなど地域に密接した図書館運営にする予定です。
- 委員) 《特に質問・意見等はなし》

(3) 千里図書館新館の進捗状況について

- 事務局) 現在、24年度中の開館にむけて工事中。レイアウトは決まっているが家具などの備品はまだです。南千里駅前公共施設で8階建て、図書館は3階に入ります。千里市民センター、国際交流センターなども入るので、全体の運営について話し合っているところです。
- 委員) 《特に質問・意見等はなし》

(4) (仮称) 千里丘図書館の進捗状況について

- 事務局) 基本設計案の意見募集について、7月からホームページでも公開されています。7通12項目いただいた中で、対面朗読室や多目的室でのブックスタート事業、吹田で

は初めてとなる授乳室を設ける事などが実施設計で反映されました。基本設計でトータル 712 m²、パブリックコメント募集時より 50 m²ほど広げた。2 階部分が張り出した形の建物になります。

委員) こじんまりとした印象も受けるが、パブリックコメントの意見は賛成の雰囲気なのか。

事務局) 地域の方から歓迎の意はいただいているが、土地の制約が何とかできなかつたのかというご意見は出ている。出張所と一緒にして新しく建てることができず、小さいという印象もあるが、工夫していきたいと考えます。

委員) 駐車場は有料ですか。

事務局) まだ具体的な話ではありませんが、有料化の方向性もあり得ます。近隣の施設の休館日などの有効利用も含めて、検討課題です。

委員) 堺では時間での割引もあるが、どうか。

事務局) 新設施設の周囲の状況によって変わってきますが、千里丘の場合は最初の何分間までは無料、というようなことも考えられます。

(5) 千里山・佐井寺図書館の業務委託に係る業者選定の結果報告について

事務局) 業者決定は指名型プロポーザル方式。金額だけで業者を決定することによるサービス低下の危険や、図書館サービスの知識・経験のある業者が望ましいのと、はじめての委託であり、各業者の話を聞く必要があるということでプロポーザル方式としました。6 業者を指名し、3 業者が辞退、3 業者の企画提案を受けました。結果、株式会社図書館流通センターに決定しました。資料の装備委託等ですでに吹田と契約している業者であり、全国で窓口業務委託の実績もあります。12 月 1 日より業務委託開始します。

委員) データベース環境があるが、そこも委託か。

事務局) データベース利用受付の窓口は委託になります。

委員) オンラインデータベースの市民向け講座のようなものは、委託内容に盛り込まれているか。

事務局) 職員が実施したいと考えています。

委員) 千里タイムズに労働組合から、業務委託はサービス低下ではないのかという意見広告が出ている。記者のインタビュー記事ではなく、労働組合がお金を出して市の方針に対して意見を載せている。市の方ではサービスに問題はないというふうになっているのに、市民が混乱する。組合とコンセンサスを取ってやっていただきたい。

事務局) 組合には 1 年半ほどかけて説明を行ってきたが、組合としては最終的に委託に反対という立場だった。職員再構築計画による職員減、一方で新館建設や毎日開館で事業が増えているにもかかわらず人員が増えないという状況の中で、今回、業務を一部委託することにより、職員を捻出し新館準備で引き抜いた職員を戻し、現場の厳しい状況を少しでも緩和出来ればということで判断しました。委託する業務としては、貸出、返却、配架を中心としたカウンター業務としました。これは、図書館業務のうち貸出返却は図書館にとって重要な業務ではありますが、反復作業であるため、貸出返却を中心とした業務委託を選択したものです。

委員) 私も民間で大幅な人員削減を体験した。そういうときにはメディアに出ることもあったが、今後、労働組合の方からこういったものが出ないよう、事前に協議していただきたい。

委員) 吹田の図書館は活動報告を見ても、たくさん行事をしているし、そのほとんどが図書館の主催行事である。吹田の図書館を良くするためには委託は反対。市が決めたから正しい、とはいえないと思っている。市民の立場として、労働組合とともに

千里タイムズに載せた。先日、ある小さな図書館に行ったら、委託スタッフに問題があったときに職員が直接言えない、時間もかかるし市民も困る、という話だった。市全体で同じ夢を追えない、とおっしゃっていた。委託が入ることで吹田の図書館全体の統一がなくなるのではないかと危惧している。委託が広がっていくことが怖いと思う。委託導入はすでに決まったことなので、今後の動きを委員としても市民としてもしっかり見ていきたい。

委員) 内容については、委託にしたとしても、指示系統や報告をきちんとしていけば、やっていけるのではと思う。

議長) 委託業務は貸出業務にとどめるということか。委員さんは、今後委託業務が広がってサービス低下になることを危惧しておられるのではと思うが。

委員) 図書館流通センターを選んだのは金額か内容か。

事務局) プロポーザル方式としましたので、金額も含めて総合的に最も優れた提案内容を審査しました。

委員) 府立では4月からカウンター業務を委託しているが、委託スタッフに言いたいこともあるが、偽装請負になるので直接は言えない。導入から半年経過してようやくスタートに立ったように思う。委託期間は何年か。

事務局) 契約は単年度だが、年度でいうと3年の委託となる予定。

委員) 継続性の問題で、府立ではスタッフの契約が1年ごとになっているので、窓口業務でもその業務がどのように継続されていくか、仕様書できっちり決めておく必要がある。研修を含めた移行期間はどうなっているか。

事務局) 11月15日ごろから現場で実習してもらう予定。15日に全員でマニュアルの読み合わせ。16、17日にチーフの研修。以降はシフトを組んできてもらうことになります。

議長) サービス低下になるかどうかは、委託する業務内容によりますね。

事務局) 委託業務は、窓口周りということで貸出・登録業務と、障害者サービスの貸出作業などの単純作業が委託になります。

(6) その他

委員) インターネットの標準検索で、吹田市に所蔵していない本はカウンターで予約申し込みをしなくてはいけないが、それはインターネットから申し込めるようにならないのか。

事務局) 現在のシステムでは受け付けできません。

委員) 府立の横断検索で調べることは出来るが、そこから申し込んで吹田で受け取る、というシステムにはなっていない。三重県などはそういったシステムを導入している。

議長) 参考資料として、文科省のホームページの抜粋、図書館総合展のチラシ、図書館のデジタル化の動向、の3点を配布する。さまざまな世の中の動きを見つつ、協議会の中で、今後の吹田市の図書館の在り方を中長期的な観点に立ってまとめてみるのも良いのではと考えている。

委員) とても大事なことだし、協議会で何かをまとめるのはいいと思う。

議長) まとまったものにはならないかもしれないが、協議会で意見を出していきたいと思う。

事務局) 図書館公民館海援隊プロジェクトの中で、サッカーJリーグのチームと連携した事業があり、吹田にも声をかけていただいております、こういった形で参加できるか検討しています。

事務局) 次回の日程は2月10日か17日で、議長と相談の上、改めてご連絡します。